

施設見学会を開催しました

近畿農政局和歌山平野農地防災事業所

平成29年7月31日(月)、酷暑の中、和歌山平野農地防災事業 六箇井水路(七瀬排水路)第4工区工事の近隣住民を対象とした見学会を開催しました。当日は多くの地元の方に参加頂いた他、テレビ局や新聞社にも取材して頂き、盛況な見学会となりました。

六箇井水路(七瀬排水路)第4工区工事は、既設の用排兼用水路である六箇井幹線水路のバイパス水路として和歌山市里付近から分流し七瀬川に排水する全長約2kmの七瀬排水路の最上流区間を施工する工事です。第4工区工事は同路線としては最初の工事で、施工延長約430m、主に県道64号線下に内径2mのコンクリート管を推進工法にて布設するものです。

同工事に関連しては、これまで近隣の小学校の協力を得て、児童を対象とした出前授業と2回の現地見学会を開催してきたところですが、事業と新設される七瀬排水路の効果に大いに期待されている近隣住民の方々のご要望を受け、推進工が到達立坑に貫通したタイミングで管路内部に入って排水路の規模を実感し効果を想像して頂く施設見学会を企画しました。

当日は山口地区連合自治会の皆様17名に加え、六箇井土地改良区、和歌山県農業農村整備課、和歌山市耕地課から総勢11名の参加がありました。一行は、一旦発進立坑に降り、事業と工事の概要、現場での注意事項の説明などを受けた後、10名程度に分かれて順番に管路の内部を見学しました。入坑直後の曲線部を通過し、約100m進んだところで折り返す行程でしたが、曲線部の施工方法や管と地山との間に生じる空隙の閉塞方法などについての質問に、管の継ぎ目やグラウト注入口を示しながら答えるなど、臨場感のある説明会となりました。

一連の見学会の様子は、8月3日付け日刊建設工業新聞と8月10日付けわかやま新報に掲載された他、当日18時50分頃から約2分間、テレビ和歌山のWTVニュースにて放映され、インタビューを受けた自治会長は頻発する湛水被害の様子と事業や施設への期待を語られました。

今後とも地元の方々の工事や事業に対する理解を深めるための取組みとしての施設見学会を積極的に開催していく所存です。



発進立坑内での見学会の様子



管路内での工事概要説明の様子